

平成 22 年 7 月 23 日

各 位

会 社 名 日本電産サンキョー株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 安川 員仁  
コード番号 7 7 5 7 (東証第一部)  
所 在 地 長野県諏訪郡下諏訪町 5329  
問 合 せ 先 経営企画部長 矢崎 和洋  
電 話 (0 2 6 6) 2 7 - 3 8 8 1

## 新社屋建設に関するお知らせ

当社は、長野県諏訪郡下諏訪町の本社構内において、新社屋を建設することになりましたので下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 新社屋建設の目的

当社は 2 0 0 3 年に日本電産グループに入り抜本的な経営改革を推し進め、飛躍的な業績回復を果たして参りました。昨年の世界同時不況に際しては、“大不況に立ち向かう”をスローガンに「WPR™ (利益率倍増) プロジェクト」を展開した結果、市況低迷が続くなかでも大幅な増益を実現し強固な収益構造を構築することができました。今期は「成長元年」と位置付け、スリー新(新製品・新市場・新顧客)の展開による当社事業の更なる拡大を進めており、今後の成長戦略へと大きく発展させる構想を掲げています。

この成長戦略を確実に進展させていくためには、本社内に設置している「長野開発技術研究所」の研究開発機能を増強することが不可欠であります。また、会社の成長を支えていくためには、事業規模の拡大に対応し職場環境改善を中心とする新たなインフラの整備も急務だと認識していることから、当社が掲げる新たな成長戦略を強力に推進することを目的に、本社構内において新社屋を建設することを決定いたしました。

#### 2. 新社屋の概要

##### (1) 建物の概要

- ①建設地 : 長野県諏訪郡下諏訪町 5 3 2 9 (現在の本社構内)
- ②構造 : 鉄骨 1 0 階建
- ③建築面積 : 1, 3 8 4 m<sup>2</sup> (予定)
- ④延べ床面積 : 1 3, 1 5 0 m<sup>2</sup> (予定)
- ⑤投資金額 : 約 5 0 億円 (予定)

## (2) 建築計画

- ①着工 : 2011年3月(予定)
- ②竣工 : 2012年3月(予定)
- ③稼働開始 : 2012年5月(予定)

## (3) 新社屋の主な特長

- ①オフィス中央に各階をつなぐ階段およびエレベータを設置することで、部門間のコミュニケーションを推進する構造を採用します。
- ②ネットワークを介したカンファレンスルームの充実により、グローバルに展開する拠点との連携を更に強化します。
- ③新社屋建設に伴い一部の建物を取り壊し駐車場にするとともに、本社構内の緑地化を進め周辺環境との調和を図って参ります。
- ④新社屋の外壁には、大気汚染物質である窒素酸化物( $\text{NO}_x$ )や硫黄酸化物( $\text{SO}_x$ )を吸収する効果のある二酸化チタンを主原料とした光触媒などの採用を検討しています。
- ⑤環境負荷の更なる低減に向けて、館内設備においては屋上での太陽光発電やオフィス内へLED照明の導入、加えてエアコンの使用を抑制するために館内に外気を有効に取り込むことなどを検討しております。また、地下水を熱源とする地中熱利用冷暖房システムの導入も予定しており、信州の清涼な自然環境との調和を図りながら、地球環境に配慮した事業活動を目指して参ります。

## 3. 今後の見通しと業績へ与える影響

建設工事は2012年3月に竣工し、備品や設備の搬入を経て2012年5月から新社屋における稼働が開始する予定です。現在、本社には約600名の従業員が勤務しておりますが、2015年4月には研究開発技術者を中心に800～1000名の体制に増強する計画であります。

また、大幅な機能強化と体制の拡大が図られる長野開発技術研究所では、新たな環境のもとで積極的な新製品開発を推進するとともに、全世界に展開する拠点を束ねる本社機能の強化も図るなど、グローバル競争に勝ち抜く強固な礎を築いて参ります。

なお、新社屋の竣工は2012年3月であり、当期業績へ与える影響は軽微であります。

## 4. 完成予想図



以上

WPRは、2008年に日本電産㈱の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。

WPR™ は日本電産㈱の日本国における商標です。

WPR© 日本電産㈱ 永守重信 2008年